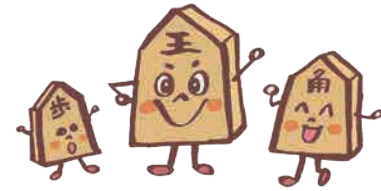


将棋界最大級イベント 特集「将棋の日」が 所沢にやってくる

県内
初開催！



11月14日(土)・15日(日)に、将棋界最大級のイベント「将棋の日」が所沢にやってきます。
今回の特集は、所沢と将棋の関係や「将棋の日」の魅力をお伝えします。
☎文化芸術振興課 ☎ 2998-9211

将棋文化が根付くまち所沢

全国に名をはせた、2人の「とうきち」

所沢市は、江戸時代から明治時代にかけて活躍した2人の将棋の名手「とうきち」を輩出しました。

1人目の「とうきち」**福泉藤吉**は、1835年の将棋番付で、西大関に格付けされ、民間棋士としては破格の七段を許されました。市内にある藤吉が眠る墓は、台石を将棋盤、香炉を駒に見立てた造りとなっています。

2人目の「とうきち」**大矢東吉**は、「所沢の東吉でも王手にゃ逃げる」という格言で知られた人物です。10代の頃、福泉藤吉の墓前で故人に入門を誓い、名を「久次郎」から「東吉」に改めました。1868年には、将棋番付で西小結に格付けされ、その後、「明治の三強」と称されました。(参考：「ところざわ歴史物語」)



▲福泉藤吉墓(川端霊園)

私も藤吉先生のような
棋士になると誓います



今も大切に引き継がれる将棋の文化

現在、2人の「とうきち」の名前を冠した「とうきち杯将棋大会」や「こども『とうきち』将棋大会」が開催され、多くの参加者で賑わっています。

このほか、「市民将棋大会」や「高齢者将棋大会」(本号9面参照)など、幅広い年代の方々が将棋に親しんでいます。



▲こども「とうきち」将棋大会



▲将棋体験のイベント



▲市民将棋大会

「将棋の日」に出演する所沢ゆかりの棋士

はぶよしはる
羽生善治九段



講演会出演！

将棋を知らない人でも楽しめるイベントなので、多くの皆様のご参加を期待しています。

【略歴】市内出身。1985年に史上3人目の中学生棋士となる。1996年に史上初の七冠同時制覇、2017年に史上初の永世七冠を達成。2018年に国民栄誉賞を受賞。2021年、東京2020オリンピックで、聖火ランナーとして市内を駆け回ったことも。

おいかわたくま
及川拓馬七段



棋士トークショー、
将棋めしコンテスト出演！

たくさんの思い出がある所沢で「将棋の日」が開催されることを、大変うれしく思います。ぜひ遊びに来てください！

【略歴】小手指小・中学校を卒業。市内のイベントへの出演や「所沢こども将棋愛好会」の顧問を務めるなど、所沢とゆかりの深い棋士。詰め将棋の作家としても有名で、詰め将棋の本も出版。